

昭島市教育委員会 殿

昭島市立昭和中学校
校長 長野 基



令和6年度教育課程について (届)

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

生徒一人一人の良さを認め、可能性を引き出し持続可能な社会の創り手を形成するために

『夢への挑戦 ～広げよう可能性 高めよう創造性～』

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 人権教育の推進

- (ア) 全教育活動を通じて心の教育を推進し、自己有用感を高め、自尊感情の育成に努める。
- (イ) 偏見、差別意識、いじめ、不登校等の未然防止を推進する。
- (ウ) 男女平等教育を適切に推進するとともに、性における多様性への理解と思いやりを育む。
- (エ) よりよく生きるための道徳性を養うために、道徳的諸価値を基に物事を多面的・多角的に考え、自分ごととして捉える道徳教育を、全教育活動を通じて実践する。
- (オ) 国際社会において活躍できるグローバルな人材の育成をめざし、国際理解教育を推進する。
- (カ) 特別支援学級との交流をもとに、インクルーシブ教育を推進する。

イ 確かな学力の定着

- (ア) 基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用した課題解決能力育成のため、言語活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びを通して生徒の思考力、判断力、表現力等を養う。
- (イ) ICT機器の日常的活用により、主体的・対話的で深い学びを追究する授業改善を進め、学びを止めない多様な学習形態を工夫したオンライン授業を実践する。
- (ウ) 習熟の程度に応じた指導や個別指導、T・T、グループ指導、ICT機器の活用など多様な指導方法や指導体制を工夫し、個別最適な学び及び協働的な学びの実現を図る。
- (エ) 各学力調査の結果を的確に分析・把握し、授業改善推進プランを基に指導法の工夫・改善に努める。
- (オ) カリキュラム・マネジメントの観点から教科横断的な学習や総合的な学習の時間を通して課題解決力を高め、自己の生き方を考える資質・能力を育成する。

ウ 健全育成の推進

- (ア) 基本的な生活習慣、規範意識、心身の健康、適切な人間関係の構築能力を育成する。
- (イ) 体育・運動能力に関する調査結果を基に、保健体育・部活動を通して体力の向上を図り、栄養士等と連携した食育の推進と「元気アップガイドブック」を活用して、心と体の健康づくりを推進する。
- (ウ) 安全、防災教育を推進し、大規模災害発生時の適切な対応や感染症予防への計画的な指導を行う。
- (エ) 小中連携教育を推進し、小学校から中学校への接続を円滑化させ、中一ギャップを防止する。
- (オ) 家庭、地域、学校の役割を明確にし、連携を密にして、地域ぐるみで健全育成を推進する。
- (カ) SC及びSSWや地域人材等と連携し、様々な課題のある生徒への対応を図る。
- (キ) 食物アレルギー疾患対応マニュアルを活用し、生徒の命に関わる重大事故の発生を予防する。
- (ク) 学校いじめ対策委員会を定期的に開催することで、いじめの早期発見・早期解消に努める。
- (ケ) 校内委員会を開催し、支援が必要な生徒に学校生活支援シート及び個別の指導計画を作成し、個の状態に応じた丁寧な指導、支援を行う。またICT機器の活用やくじらーニング等で学習を支援する。
- (コ) 副籍制度の推進や、交流及び共同学習の推進を行う。

2 指導の重点

(1)各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等

ア 各教科

- (ア) ガイダンスシラバスを活用して、生徒が到達すべき目標を定め、自己学習力を高める。
- (イ) 習熟度別ガイドラインに基づいた数学科、英語科の少人数習熟度別指導、保健体育科のティーム・ティーチング等により、習熟に応じて補充的な指導や発展的な指導を進め個に応じた指導の充実を図る。
- (ウ) 基礎的・基本的な知識・技能の習得のため、放課後や長期休業日中の自習教室を実施する。
- (エ) 計画的に課題を示し、e ライブラリの活用法等を工夫して、家庭学習を習慣化し学力を定着させる。
- (オ) 社会科、理科、総合的な学習の時間を中心に、SDGs の観点から環境教育を包括的に推進する。
- (カ) 漢字、英語、数学の各種検定取得に取り組み、確かな学力向上から自尊感情を高めさせる。
- (キ) 「昭島市立学校 教育のユニバーサルデザイン」を基に教育のユニバーサルデザイン化を実現する。
- (ク) 学習指導要領の趣旨を踏まえた適切な指導を、信頼性と妥当性のある評価を通して行う。
- (ケ) 全ての教科で主体性と思考力及び表現力を育むために、個別最適な学びと協働的な学びを充実する。
- (コ) 技術の時間を中心に、プログラミング教育を推進し、論理的思考力を身に付けさせる。
- (サ) 保健体育でがんに関する基本的な知識を習得し、生命の大切さを学ぶ。
- (シ) 英語村での体験的な学習を通し、異文化・自文化への理解を深め、外国語の活用能力を高める。

イ 道徳科

- (ア) 全教育活動を通じてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養い、広い視野から自他を尊重する心と思いやりの心を育て、道徳的実践につなげる。
- (イ) 道徳教育推進教師を中心に全体計画・年間指導計画を基に、全教員がローテーション授業で5つの重点内容項目を扱い、目指す生徒像実現と教師の指導力向上を図る。
- (ウ) 話し合い活動や発問の工夫により多面的・多角的に考え、人間としての生き方を深く考える道徳科授業を実施する。また、道徳授業地区公開講座で家庭、地域と連携した心の教育を推進する。

ウ 総合的な学習の時間

- (ア) 「生きる」を主題に、1年:地域に生きる、2年:社会に生きる、3年:共に生きる、というテーマで3年間を通して段階的に学習を進め、持続可能な社会づくりに必要な資質・能力を育成する。
- (イ) 探究や体験を通し、見学や調査、発表や討論等により学び方やものの考え方、効果的な発表方法を身に付け、自己の生き方を深く考える態度を養う。また、学校図書館や地域人材等を有効に活用する。
- (ウ) 学習指導要領の趣旨を踏まえた指導計画作成し、計画的、組織的に実施する。
- (エ) 組織的、計画的にキャリア教育を推進し、自己の夢を求め、社会に有為な人材となる生徒を育成する。

エ 特別活動

- (ア) 生徒主体の学級活動、学校行事、生徒会活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
- (イ) 学級満足度調査を基に、互いの人権が尊重され、個が認められる安心できる学級、学校をつくる。
- (ウ) 生徒会や部活動を中心にボランティアへの参加を奨励し、地域社会の一員としての自覚を高める。

(2)特色ある教育活動

- ア 1組コミティ等、特別支援学級と通常の学級の交流を一層推進し、全ての生徒にとって望ましい人間関係を構築し、自己実現を図ることができる共生社会の実現に向けた素養を育成する。
- イ セーフティ教室や生徒会によるSNS自主ルールの取組により、確かな情報モラルを身に付ける。
- ウ 自殺予防教育を生徒の発達段階に応じて行い、援助希求能力を育成するハートフル教室を実施する。
- エ オリンピック・パラリンピック教育を継続し、スポーツにすすんで取り組もうとする意欲の育成を図る。また、道徳教育と関連させてパラスポーツへの理解を進め、「ハートフル昭和」をスローガンとした思いやりある行動と併せて、昭和中学校のレガシーを築く。
- オ 生徒の話し合いにより策定した「生活の決まり」を通して、生徒の自己指導能力を高める。
- カ 生徒の主体性と個性の伸長を図る部活動を推進し、自己の可能性に挑戦する強い心を育成する。
- キ サポートルームにより、将来の自立を目標に、教育支援員、諸機関と連携し別室登校の生徒を支援する。
- ク SC、SSW、支援員、図書ボランティア等、外部人材の活用を推進する。同時に、教職員の働き方改革を組織的に進め、効率的で効果的な教育活動を実施する。
- ケ 年間を通して、10分間の朝読書を行い、豊かな心の育成と読書活動の充実を図る。
- コ 小学生を対象に授業体験、部活動体験、音楽祭への招待を行い、小中学校の円滑な連携を図る。
- コ 各種コンクール、コンテスト等に積極的に取り組み、達成感を通して生徒の自己肯定感を育成する。
- サ 特別支援教室を適切に運営し、個に応じた指導、支援を拡充し、特別支援教育を一層充実させる。

[illegible]

(2)各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の年間指導時数配当表

学 年		1	2	3
区 分				
各 教 科	国 語	141	141	105
	社 会	106	105	140
	数 学	141	105	140
	理 科	106	140	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	106	105	105
	技 術 ・ 家 庭	71	70	35
	外 国 語 (英 語)	141	141	140
	小 計	902	877	875
道 徳 科		35	35	35
総 合 的 な 学 習 の 時 間		53	83	72
特 別 活 動 (学 級 活 動)		38	40	37
総 計		1028	1035	1019
選 択 教 科	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語 (英語)			
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語 (英語)			
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語 (英語)			
備 考				
ア 1 単位時間				
1 単位時間は50分とする。				

備	考
イ 特別活動 (ア) 特別活動(学級活動)の時間は全学年一斉に月曜日の6校時に設定し、年間を通して35週以上にわたって授業を実施する。 (イ) 特別活動における生徒会活動は、年間を通して5時間を配当する。内訳は、 新入生歓迎会 (2) 前後期生徒総会 (2) 生徒会役員選挙 (1) とする。 また、生徒の自治意識向上のために日常の委員会活動の充実を図る。活動時間の補充は「その他の活動の時間」で行う。 (ウ) 第1学年の移動教室は自然体験及び生涯スポーツの観点から、スキー体験学習を実施する。 (エ) 第2学年の校外学習等の活動は、総合的な学習の時間とも関連させ、体験学習・調べ学習を効果的に取り入れながら実施する。 (オ) 第3学年の修学旅行は関西方面とする。日本の文化財の見学に加え、伝統工芸や伝統芸能の体験学習を実施し、日本人としてのアイデンティティの確立と国際理解を深める一助とする。	
ウ その他 (ア) 朝学活の後の10分間を朝読書の時間とし、豊かな心の育成と読書活動の充実を図る。 (イ) 第1学年で職場訪問2時間、第2学年で職場体験を3日間行い、望ましい勤労観・職業観を育てる。 (ウ) 4月20日、5月11日、3月8日の土曜日授業の実施の工夫で授業時数の確保に努める。	

第5表の1

学校名 昭島市立昭和中学校

学校行事

月	4	5	6	7	8	9
曜・行事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	月		水		土	体育祭 お弁当の日 ふれあい月間始 体力・運動能力調査 始
2	火		木	安全指導 (引き取り訓練)	日	
3	水		金	憲法記念日	月	振替休業日
4	木		土	みどりの日	火	
5	金	春季休業日終	日	こどもの日	水	
6	土		月	振替休日	木	
7	日		火		金	
8	月	始業式	水		土	
9	火	入学式	木		日	
10	水		金		月	学級満足度調査 開校記念日
11	木	安全指導	土	学校公開	火	
12	金	定期健康診断開始 給食始	日		水	小中連携の日
13	土		月		木	
14	日		火		金	
15	月		水		土	海の日
16	火		木	避難訓練	日	
17	水		金	お弁当の日	月	避難訓練
18	木	全国学力・学習 状況調査(3)	土		火	
19	金		日		水	期末考査始
20	土	土曜授業 セーフティ教室	月		木	
21	日		火		金	期末考査終
22	月		水		土	夏季休業日始 夏季補習教室始
23	火	避難訓練	木		日	
24	水		金		月	安全指導
25	木		土		火	
26	金		日		水	
27	土		月	安全指導	木	
28	日		火		金	ふれあい月間終 定期健康診断終 体力・運動能力調査 終
29	月	昭和の日	水		土	
30	火		木		日	
31			金		月	

第5表の2

学校名 昭島市立昭和中学校

月	10	11	12	1	2	3
曜・行事	曜 行 事	曜 行 事	曜 行 事	曜 行 事	曜 行 事	曜 行 事
1	火 都民の日	金 ふれあい月間始	日	水 元日	土	土
2	水 職場体験学習(2)始	土	月	木	日 移動教室始(1)	日
3	木	日 文化の日	火	金	月	月
4	金 職場体験学習(2)終	月 振替休日	水	土	火 移動教室終(1)	火
5	土	火	木	日	水 振替休業日(1)	水
6	日	水	金	月	木 小中連携の日	木 避難訓練
7	月 安全指導	木	土 道徳授業地区公開講座 学校公開	火 冬季休業日終	金	金 救急救命講習(2)
8	火	金	日	水 始業式 安全指導	土	土 学校公開(総合学習発表会等)
9	水	土	月 振替休業日	木 給食始	日	日
10	木	日	火	金	月 安全指導	月 振替休業日
11	金 修学旅行始(3)	月	水	土	火 建国記念の日	火
12	土	火	木	日	水	水
13	日 修学旅行終(3)	水 期末考査始	金	月 成人の日	木	木
14	月 スポーツの日	木	土	火	金	金
15	火	金 期末考査終	日	水	土	土
16	水	土	月 安全指導	木 避難訓練	日	日
17	木	日	火	金	月	月
18	金	月 安全指導	水	土	火 避難訓練	火 卒業式
19	土	火	木	日	水	水
20	日	水	金	月	木	木 春分の日
21	月	木	土	火	金 お弁当の日	金 給食終
22	火	金 避難訓練	日	水	土	土
23	水 小中連携の日	土 勤労感謝の日	月 避難訓練	木	日 天皇誕生日	日
24	木 避難訓練	日	火 給食終	金	月 振替休日	月
25	金	月	水 終業式	土	火 期末考査始	火 修了式 離任式
26	土	火 体験型英語学習(2)	木 冬季休業日始	日	水	水 春季休業日始
27	日	水	金	月	木 期末考査終	木
28	月	木	土	火 校外学習(2)	金	金
29	火	金 職場訪問(1) ふれあい月間終	日	水		土
30	水	土	月	木		日
31	木 音楽祭 小中連携の日 お弁当の日		火	金		月